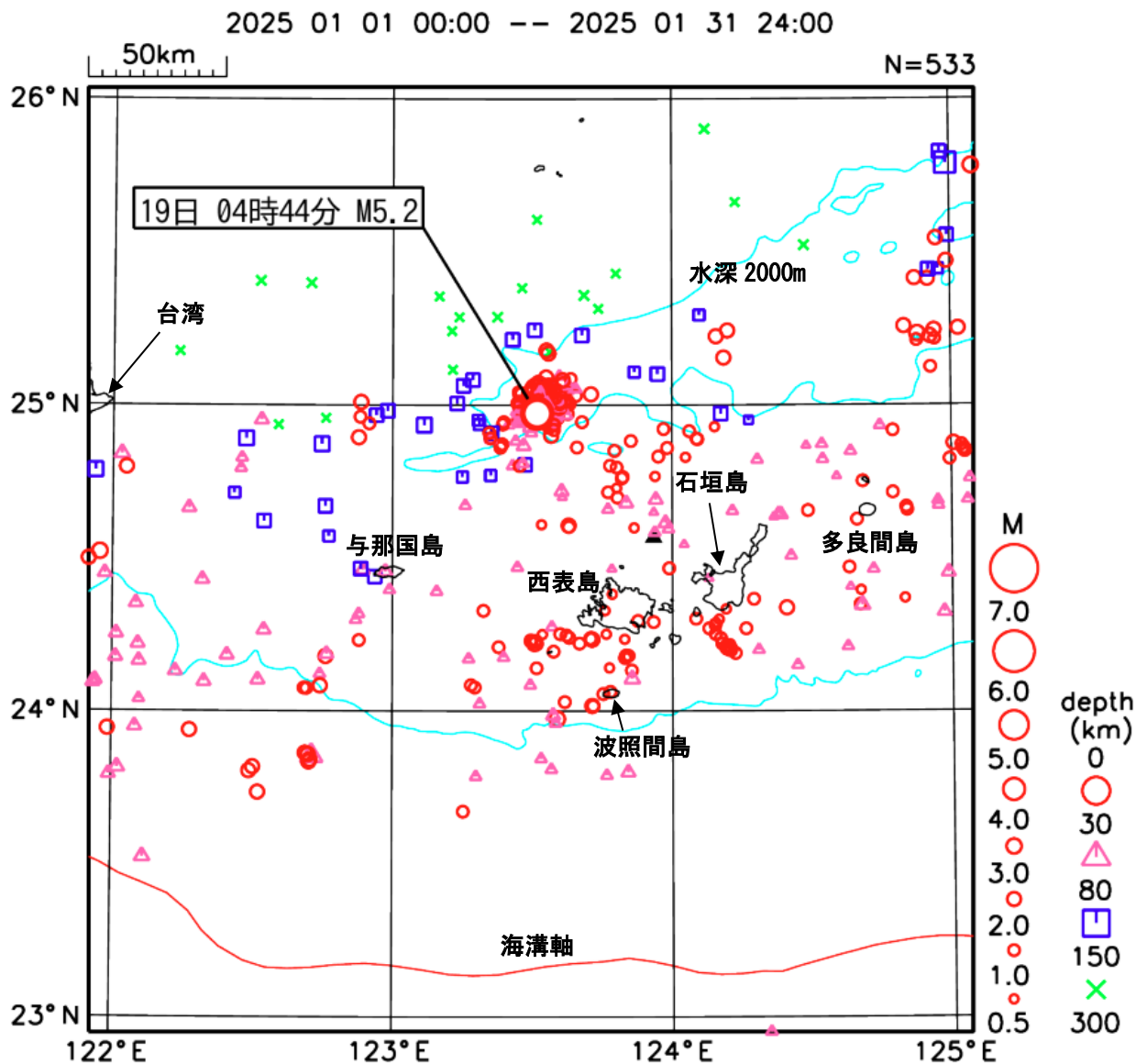


八重山地方の地震活動

令和7年(2025 年)1月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
▲ : 活火山
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

[概況]

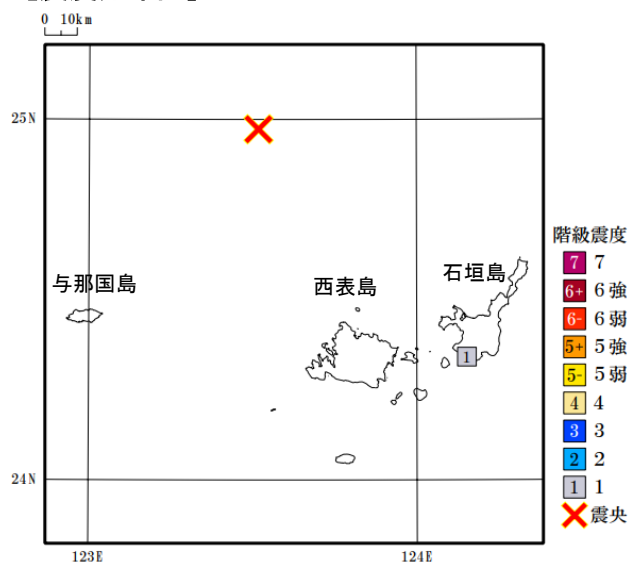
今期間 (1月)、震度1以上を観測した地震は3回でした (12月はなし)。

(上図の範囲外で発生した地震は、次頁の震度分布図参照)。

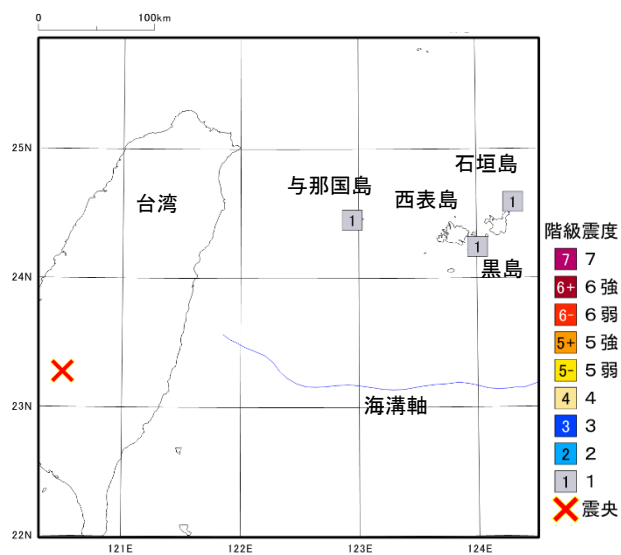
1月の主な活動は以下のとおりです。

21日01時17分に台湾付近(上図範囲外、震度分布図参照)の地震(M6.1)により、石垣市から与那国町にかけて震度1を観測しました(別紙参照)。

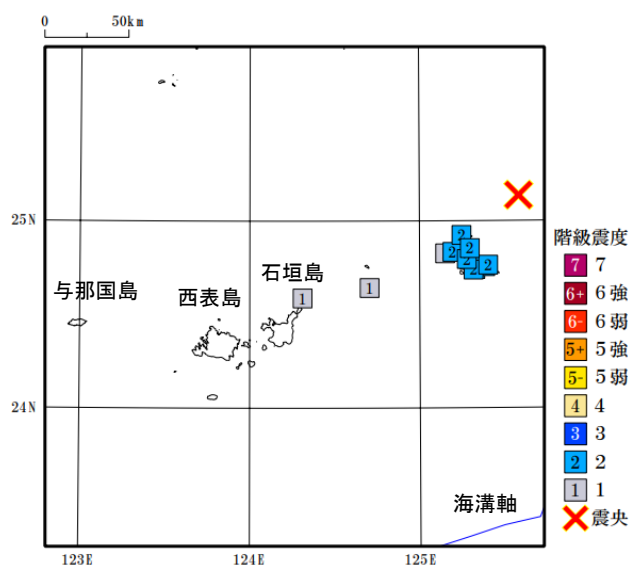
〔震度分布図〕



1月19日04時44分 石垣島近海 深さ29km M5.2



1月21日01時17分 台湾付近 深さ8km M6.1



1月27日01時31分 宮古島近海 深さ31km M4.9

八重山地方で震度 1 以上を観測した地震一覧（期間：1 月 1 日～31 日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2025 年 01 月 19 日 04 時 44 分 沖縄県 震度 1：石垣市新栄町＊	石垣島近海	24 ° 58.3' N	123 ° 31.0' E	29km	M5.2
2025 年 01 月 21 日 01 時 17 分 沖縄県 震度 1：石垣市平久保, 与那国町久部良, 竹富町黒島	台湾付近	23 ° 16.5' N	120 ° 29.9' E	8km	M6.1
2025 年 01 月 27 日 01 時 31 分 沖縄県 震度 2：宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣＊, 宮古島市城辺福西＊ 宮古島市上野支所＊, 宮古島市平良西里＊ 震度 1：多良間村塩川, 宮古島市下地島空港＊, 石垣市平久保	宮古島近海	25 ° 08.1' N	125 ° 35.1' E	31km	M4.9

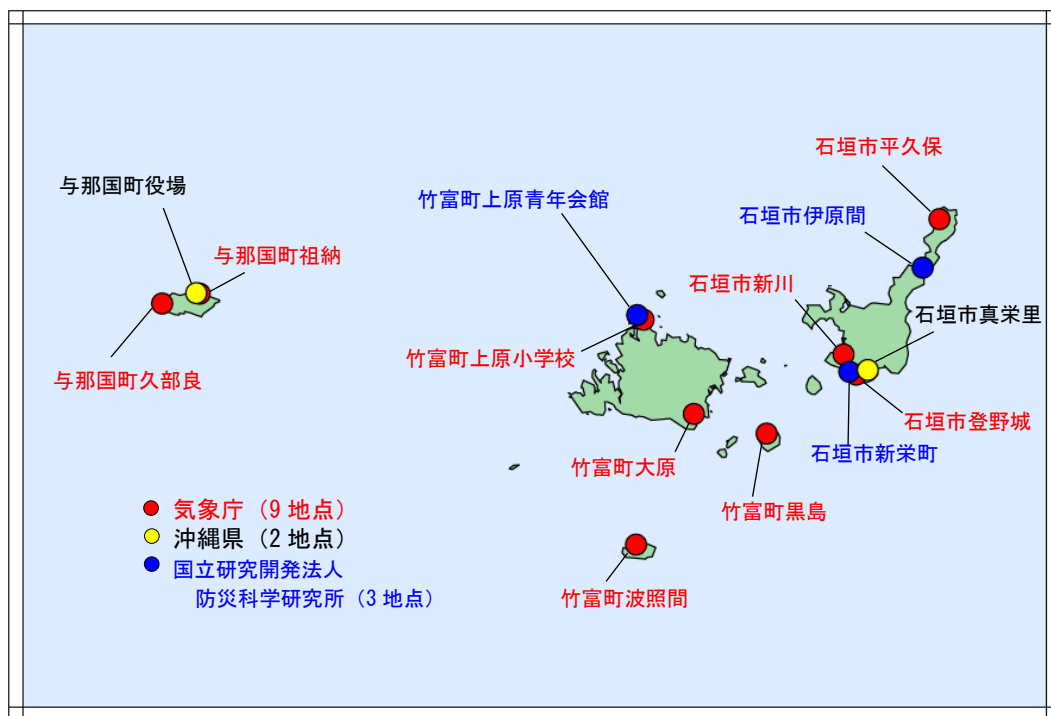
＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて
国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、
国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神
奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測
点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて
震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」
をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170



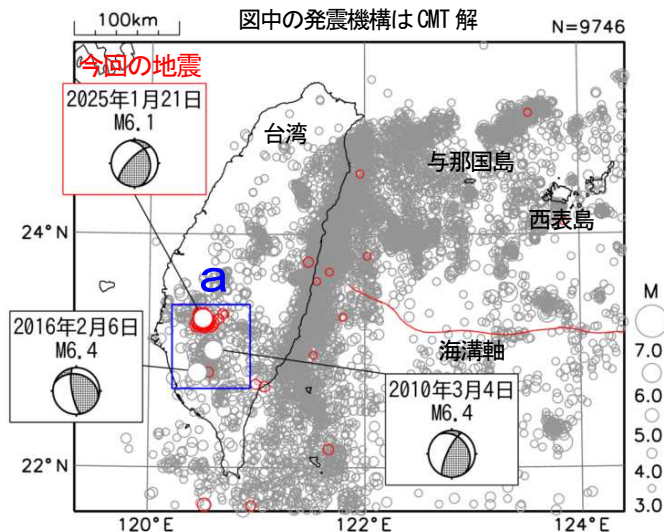
1月21日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2025年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2025年1月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解



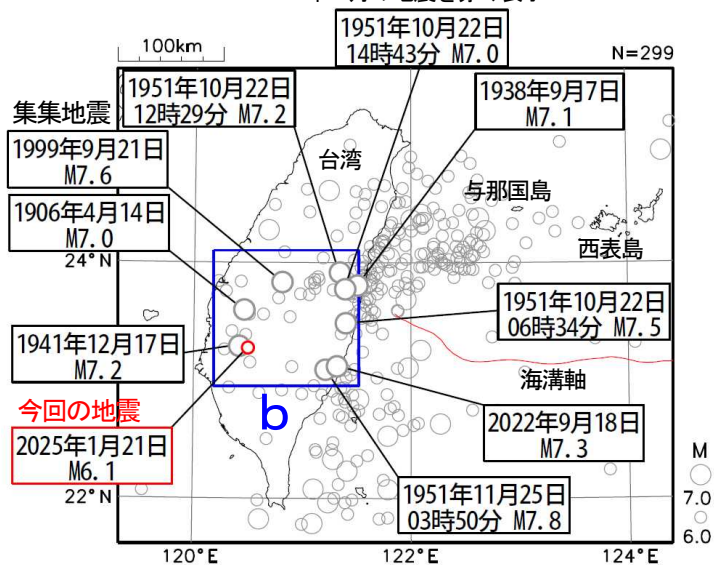
2025年1月21日01時17分に台湾付近でM6.1の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2016年2月6日にM6.4の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が3回発生した。

震央分布図

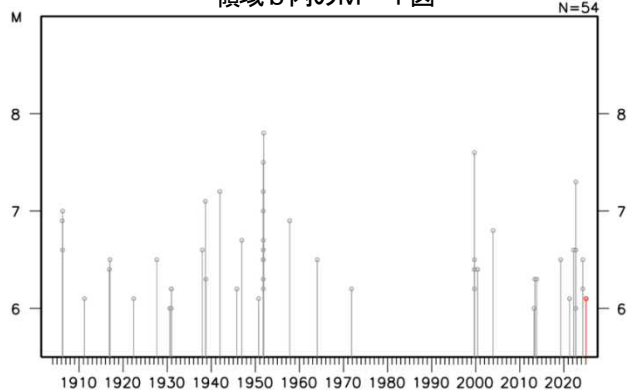
(1904年1月1日～2025年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2025年1月の地震を赤く表示

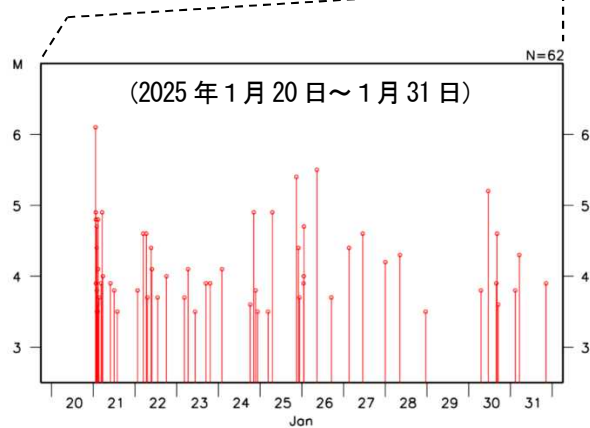
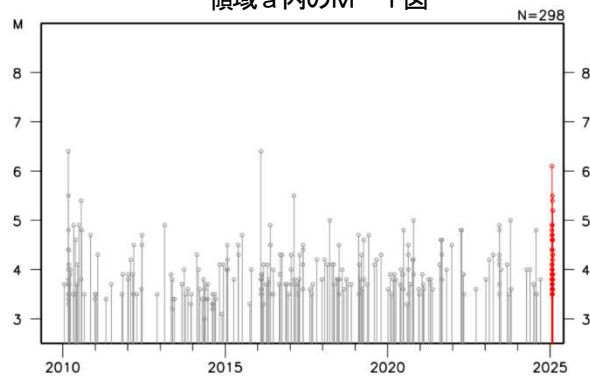


2020年までの震源要素はISC-GEM、
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

領域b内のM-T図



領域a内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。